

一般財団法人ロイヤルブルーティー・茶宴・愉茶振興会 定 款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般財団法人ロイヤルブルーティー・茶宴・愉茶振興会と称する。

(事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を神奈川県横浜市に置く。

2 当法人は、理事会の決議によって、従たる事務所を設置することができる。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 当法人は、「本物のお茶を伝える」ことを理念として掲げ、ロイヤルブルーティーで培った3つの事業（手摘み茶の農業、HACCPマネージメントによる製造、高級茶を愉しむためのサービス）を基盤として、「茶宴（CHAEN）」「愉茶（Yu-Cha）」という新しい生活様式・文化を国内外に啓蒙普及および推進することを目的とするものである。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 「知的財産」及び「知的財産権」の取得・維持・活用・管理・監督及び統括
 2. ロイヤルブルーティーの製造技術を活用した6次産業事業の支援（1次産業（農業）×2次産業（製造業）×3次産業（サービス業）＝6次産業）
 3. ロイヤルブルーティーの原料となる手摘み茶の高度な農業技術の啓蒙普及推進及び支援
 4. ロイヤルブルーティーHACCPマネージメントで培ったHACCPの啓蒙普及推進及び支援
 5. 上記各号の支援活動に関わる研究開発及び基金・奨学金・奨励金の授与
 6. 茶宴・愉茶に関するコンサルティング事業
 7. 茶宴・愉茶に関する商品開発・企画・販売事業
 8. 茶宴・愉茶を通じた歴史・文化・教育・イベント等、全般に関わるサービス事業
 9. 茶宴・愉茶に関するメディア・印刷・出版・AI+IoT 関連事業
 10. 茶宴・愉茶に関する交流事業
 11. 茶宴・愉茶を主体とした認定事業
 12. その他当法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

第3章 公 告

(公告の方法)

第5条 当法人の公告は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第4章 資産及び会計

(財産の抛及及びその価額)

第6条 当法人の設立に際して設立者が抛出する財産及びその価額は、次のとおりである。

- (1) 設立者 ロイヤルブルーティージャパン株式会社
現金 金100万円
- (2) 設立者 佐藤 節男
現金 金100万円
- (3) 設立者 吉本 桂子
現金 金100万円

(事業年度)

第7条 当法人の事業年度は、毎年10月1日から翌年9月末日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第8条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第9条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- 2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(剰余金の不分配)

第10条 当法人は、剰余金の分配を行わない。

第5章 評議員及び評議員会

第1節 評 議 員

(評議員)

第11条 当法人に、評議員3名以上7名以内を置く。

(選任及び解任)

第12条 評議員の選任及び解任は、評議員会において行う。

(任期)

- 第13条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 補欠として選任された評議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
 - 3 評議員が欠けた場合又は第11条に定める評議員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した評議員は、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(報酬等)

- 第14条 評議員は無報酬とする。ただし、評議員には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。
- 2 前項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第2節 評議員会

(権限)

第15条 評議員会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）に規定する事項及びこの定款で定める事項に限り決議する。

(開催)

第16条 定時評議員会は、毎事業年度終了後3か月以内に開催し、臨時評議員会は、必要に応じて開催する。

(招集権者)

- 第17条 評議員会は、理事会の決議に基づき、理事長が招集する。
- 2 理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会の定めた順序により他の理事が招集する。

(招集の通知)

第18条 理事長は、評議員会の開催日の5日前までに、評議員に対し、会議の日時及び場所並びに目的である事項を記載した書面をもって、通知を発しなれば

ならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、評議員全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく、評議員会を開催することができる。

(議長)

第19条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第20条 評議員会の決議は、議決に加わることができる評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 一般法人法第189条第2項の決議は、議決に加わることができる評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(決議の省略)

第21条 理事が評議員会の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることができる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第22条 理事が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第23条 評議員会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第6章 役員及び理事会

第1節 役員

(役員)

第24条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上7名以内
 - (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を代表理事とする。

(役員を選任等)

第25条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 代表理事は、理事会の決議によって理事の中から選定し、代表理事をもって理事長とする。
- 3 監事は、当法人又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

- 第26条 理事は、理事会を構成し、この定款の定めるところにより、当法人の業務の執行を決定する。
- 2 理事長は、法令及びこの定款の定めるところにより、当法人を代表し、その業務を執行する。

(監事の職務及び権限)

- 第27条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令の定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第28条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了の時までとする。
 - 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
 - 4 理事若しくは監事が欠けた場合又は第24条第1項に定める理事若しくは監事の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した理事又は監事は、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

- 第29条 理事又は監事が次のいずれかに該当するときは、その理事又は監事を評議員会において解任することができる。ただし、監事を解任する決議は、議決に加わることができる評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を懈怠したとき。
 - (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

- 第30条 理事及び監事の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益は、評議員会の決議によって定める。

(取引の制限)

- 第31条 理事は、次に掲げる取引をしようとする場合には、理事会において、その取

引について重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。

- (1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引
 - (2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引
 - (3) 当法人がその理事の債務を保証することその他その理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引
- 2 前項の取引をした理事は、その取引後、遅滞なく、その取引について重要な事実を理事会に報告しなければならない。

(責任の一部免除又は限定)

- 第32条 当法人は、一般法人法第198条において準用する同法第114条第1項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として、理事会の決議により、免除することができる。
- 2 当法人は、一般法人法第198条において準用する同法第115条第1項の規定により、理事（業務執行理事又は当該法人の使用人でないものに限る。）又は監事との間で、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。ただし、その責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額とする。

第2節 理事会

(権限)

- 第33条 理事会は、この定款に別に定めるもののほか、次の職務を行う。
- (1) 業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 代表理事の選定及び解職

(招集)

- 第34条 理事会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長がこれを招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会の定めた順序により他の理事が招集する。
 - 3 理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで理事会を開催することができる。

(議長)

- 第35条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(決議)

- 第36条 理事会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する同法第96条の要件を満たすときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第37条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。ただし、一般法人法第197条において準用する同法第91条第2項の規定による報告については、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成する。
2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

(理事会規則)

第39条 理事会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会の規則で定める。

第7章 定款の変更、解散及び清算

(定款の変更)

第40条 この定款は、評議員会において、議決に加わることができる評議員の3分の2以上に当たる多数をもって決議することにより変更することができる。
2 前項の規定は、当法人の目的並びに評議員の選任及び解任の方法についても適用する。

(解散)

第41条 当法人は、当法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定める事由によって解散する。

第8章 附 則

(設立時の評議員)

第42条 当法人の設立時評議員は、次のとおりとする。
設立時評議員 秦野 文枝、長瀬 道子、江田 裕紀

(設立時の役員)

第43条 当法人の設立時理事、設立時代表理事及び設立時監事は、次のとおりとする。
設立時理事 佐藤 節男、吉本 桂子、沖 眞由美
設立時代表理事 佐藤 節男
設立時監事 小川 湧三

(最初の事業年度)

第44条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から令和4年9月末日までとする。

(設立者の氏名及び名称並びに住所及び本店)

第45条 設立者の氏名及び名称並びに住所及び本店は、次のとおりである。

本 店 川崎市川崎区南渡田町1番1号

設立者 ロイヤルブルーティージャパン株式会社

住 所 神奈川県藤沢市本町二丁目8番28～202号

設立者 佐藤 節男

住 所 神奈川県藤沢市西富二丁目7番18号

設立者 吉本 桂子

(法令の準拠)

第46条 この定款に定めのない事項は、全て一般法人法その他の法令に従う。

以上、一般財団法人ロイヤルブルーティー・茶宴・愉茶振興会設立のため、設立者ロイヤルブルーティージャパン株式会社外2名の定款作成代理人 小川 湧三は、電磁的記録であるこの定款を作成し、これに電子署名をする。

令和3年10月15日

設立者 ロイヤルブルーティージャパン株式会社

設立者 佐藤 節男

設立者 吉本 桂子

上記設立者3名の定款作成代理人 小川湧三